KENWOOD

MDレシーバー

E303MD

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION

使いこなし!
ファンクショナルオペレーション

Functional Operation

ここさえ読めばひとまずOK!
イージーオペレーション

EZ Operation

? MD Group
? Operation
? Word

Help

MDLP MD GROUP

Contents

ここを読まなければ操作できない！
この取扱説明書を読むルールが書いてあります。

本書の読みかた

ここさえ読めばひとまずOK!
イージーオペレーション

EZ Operation

思ったとおりに動作しなかったとき
わからない用語が出てきたら…
困ったときのお助けページ！

Help

? MD Group
? Operation
? Word

取り付け方法など

付　録

使いこなし!　ファンクショナルオペレーション

EZ Operation

本書の読みかた

この取扱説明書では、本機の使いかたや別売品を大きく次の3つのブロックに分けて説明しています。

ここさえ読めばひとまずOK!
イージーオペレーション

EZ Operation

すぐに使いたいかたのために、必要最小限の機能をできるだけ簡単に説明しています。ここだけ読めば、とりあえずお使いいただけます。

使いこなし!　ファンクショナルオペレーション

Functional Operation

EZ Operationを習得したらここへ。すべての機能をステップバイステップで説明しています。ここを読めば、十分に使いこなすことができます。

Help

? MD Group

グループ登録済みMDの検索機能などを説明しています。

? Operation

思ったとおりに動作しなかったときの原因と対策を説明しています。

? Word

取扱説明書やディスプレイに表示される用語を解説しています。

これらのほかに、本機の取り付け方法などを説明した［付録］があります。

取扱説明書に記載されているディスプレイ部やパネルの表記は操作説明を円滑に行うための表示例です。このため、実際の機器とは異なることや、実際にはありえない表示パターンが記載されていることがあります。

本文でのマークについて

共通の操作
ソースにかかわらない共通の操作を表しています。

MDの操作
MDをプレイする操作を表しています。

チューナーの操作
FM/AM放送を受信する操作を表しています。

注意
ケガなどを防ぐための大切な注意事項を表しています。

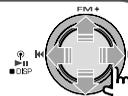
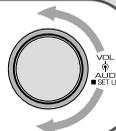
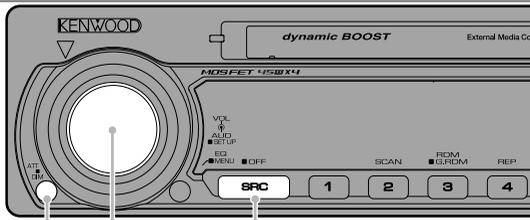
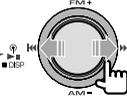
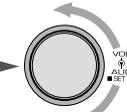
メモ
本機の損傷を防ぐための注意事項を表しています。
また、機能・使用方法の制限や使いかたのアドバイスも表しています。

短く押す
ボタンをチョンと押すことを表します。

1秒以上押す

1秒以上（メモリーに書き込むときは2秒以上）押す操作を表しています。

動作が始まるまで、または画面の表示が変わるまでボタンを押し続けることを表します。
通常、１秒間押します。また、メモリーに書き込むときには２秒間押します。押す秒数は矢印の中の表示を目安にできます。

矢印の方向に押す
矢印の方向にボタンを押すことを表します。

回す
ノブを回す（または左右に回す）ことを表します。

Functional Operation
ソースセレクション
KENWOOD
dynamic BOOST
MOSFET 45W×4
VOL
AUD
SET UP
EQ
MENU
OFF
ATT
DIM
SCAN
RDM
G.RDM
REP
SRC
1
2
3
4
A
B
この辺ボタンABC…
操作するボタンがどこにあるのか…、位置を表すためのマークです。
ソース選択
プレイするソースを切り替えます。
C
SRC
ディスプレイ表示スクロール
ボタンを押すたびに切り替わるモードや表示を表します。
TUNER
FM/AM放送を受信
内容の説明
MD
MDをプレイ
STANDBY
電源をオンのままで機能を停止
表示される文字または内容
ディマーコントロール
ディスプレイの明るさを設定します。
A
2秒
DIM ON
ディスプレイ表示
このディスプレイが表示されるまでボタンを押すことを表します。
２秒以上押すたびに、ディマーがオン/
オン時はディスプレイが暗くなります。
トラックサーチ
順に曲を選びます。
D
FM+
AM−
DISP
ボリュームコントロール
ボリュームを設定します。
B
上記マーク表記例は実際の操作とは異なります。

安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため「安全上のご注意」をご使用の前によくお読みください。

絵表示について：
この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為にいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容を示しています。

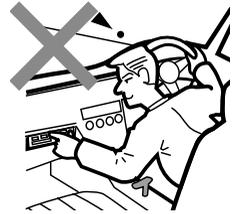
絵表示の例

⚠記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な注意内容が描かれています。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

❗記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。近傍に具体的な指示内容が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

交通事故の発生を防ぐため、必ず以下の事項をお守りください。

運転者が以下のような行為をするときは、必ず、安全な場所に車を停車させてから、行ってください。

- カーオーディオの操作（音量調節、ディスクの挿入・取り出し　など）

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。

⚠注意

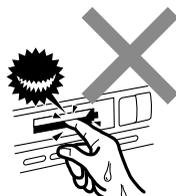
以下のような異常があった場合は、直ちに使用を中止し、購入店、ケンウッドサービスセンター、ケンウッドサービスステーション、営業所へご相談ください。そのまま使用すると、火災その他の事故の原因となります。

- ●音が出ない
- ●ディスプレイが表示されない
- ●異物が入った
- ●水がかかった
- ●煙が出る
- ●変な匂いがする

禁 止

修理は必ず購入店、ケンウッドサービスセンター、ケンウッドサービスステーション、営業所にご依頼ください。お客様による修理は、火災その他の事故の原因となります。

禁 止

製品の分解や改造はしないでください。
火災その他の事故の原因となります。

禁 止

ディスク挿入口に手や指を入れないでください。
ケガをすることがあります。

禁 止

本製品内に水や異物を入れないでください。発煙、発火、感電の原因となります。

禁 止

製品は、車載用以外としての用途では使用しないでください。

禁 止

本製品に、強い衝撃を与えないようにしてください。ガラス部品を使用しているため、割れてケガをするおそれがあります。

実 施

本製品の取り付け・配線は技術と経験が必要です。安全のため<お買い上げの販売店>にご依頼ください。

使用上のご注意

本機に接続するCDプレーヤー/ディスクチェンジャーについて

本機には、1998年以降に発売のケンウッド製ディスクチェンジャーやCDプレーヤーが接続できます。接続できるディスクチェンジャーやCDプレーヤーの機種はカタログをご覧ください。

●

1997年以前のケンウッド製ディスクチェンジャー、および他社製のディスクチェンジャーやCDプレーヤーは接続することはできません。接続すると破損や故障の原因となります。

●

“O-Nスイッチ”の付いているケンウッド製ディスクチェンジャーは“N”側に設定してください。

●

接続している機種により、使用できる機能や表示できる情報が異なる場合があります。

●

別売品のCD/MDスイッチングユニット“KCA-S210A”を使用するとディスクチェンジャーを2台まで接続することができます。接続などの詳しい説明は「接続」(38ページ)およびKCA-S210Aに付属の取扱説明書をご覧ください。

セットのお手入れについて

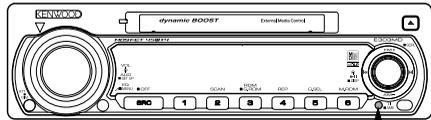
本機の前面パネルが汚れたときは、シリコンクロスか柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、中性のクリーナーをいったん布に付けてから汚れを落とし、その後洗剤を拭き取ってください。

スプレー式のクリーナーなどを直接本機に吹きかけると本機の機構部品に支障を与えたり、固い布やシンナー、アルコールなどの揮発性のもので拭くと、傷が付いたり文字が消えることがあります。

取り付け時の注意

直射日光のあたる場所、熱風のあたる場所、水のかかる場所、しっかりした取り付けのできない場所、振動の多い場所には設置しないでください。

本機の異常にお気づきのときは

本機の異常にお気づきのときは、まず「Help ?Operation」(29ページ)を参照して解決方法がないかお調べください。解決方法が見つからないときは、本機のリセットボタンをペン先などで押してください。

リセットボタン

●

リセットボタンを押しても正常に戻らないときは、本機の電源をオフにして、購入店またはお近くのケンウッドサービスセンターへ相談してください。

結露について

寒いときにヒーターを付けた直後など、本機の内部に露(水滴)が付くことがあります。これを結露といい、この状態ではMDの読み取りができなくなります。

このようなときは、MDを取り出して約1時間ほど放置すると、結露が取り除かれます。

もし、何時間たっても正常に作動しない場合は、購入店またはケンウッドサービスセンターへ連絡してください。

演奏時間表示について

MDの演奏時間が100分をこえた場合、下2桁までの演奏時間が表示されます。

オートアンテナ車に取り付けた場合

ラジオのアンテナが自動的に伸びるオートアンテナ車に取り付けた場合、チューナーモードにしたり交通情報機能をオンにすると、車両のアンテナが自動的に伸びます。

天井の低い車庫に入る場合は、本機の電源をオフにするか、FM/AM放送以外のソースに切り替えてください。

Hi-MD／データ用のMDについて

Hi-MD用ディスクやHi-MD形式でフォーマットしたディスク、データ用MDは使用できません。従来の音楽用のMDを使用してください。

ラベルのはがれかかったMDは

ラベルのはがれかかったMDは使用しないでください。ラベルが浮いていたり、はがれかかっているMDを使用すると、本機の中ではがれて取り出せなくなるなど故障の原因となります。

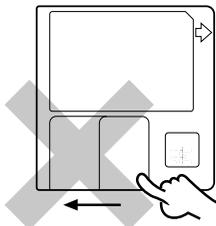
レンズクリーナーについて

レンズクリーナーは使用しないでください。光学系部品に損傷を与えたり、イジェクトができなくなるなど、故障の原因になる場合があります。

MDのお手入れ

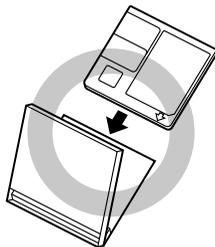
カートリッジ表面の汚れや、ゴミは乾いた布でふき取ってから使用してください。特に油汚れが付いた状態で使用しますと、ディスクがローディングされなかったり、取り出せなくなることがあります。
また、お手入れされるときは、シャッターを開かないようご注意ください。

MDのシャッターについて

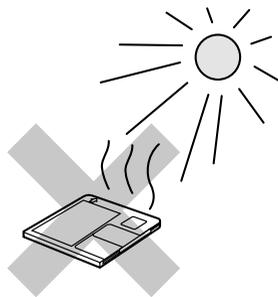
MDのシャッターは開けられないようになっています。無理に開けるとカートリッジが破損して使用できなくなります。
シャッターが何らかの原因で開いてしまったときには、記録部分を指で触らないようにしてください。記録部分に触れると使用できなくなったり、音飛びを頻繁に起こすようになります。

温度について

直射日光下で窓を閉めきっていると、自動車内は非常に高温になります。
本機内部が60℃を越える高温になると、保護回路が働いてMDの演奏ができなくなります。
このようなときは、車内の温度を下げてください。
保護回路機能が解除され、演奏ができる状態になります。もし正常に動作しないときはリセットボタンを押してください。

保管について

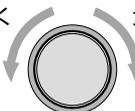
MDを長時間本機に入れたままにしないでください。また、取り出したMDは、MD専用ケースに入れて保管してください。

高温に注意

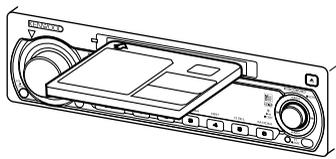
MDを直射日光の当たる場所（ダッシュボードの上など）など温度が高くなるような場所に放置しないでください。MDのカートリッジが変形して使用できなくなります。

EZ Operation

MDのプレイは簡単！　MDを差し込むだけです。

音量を調整します。

小さく　大きく

VOL AUD ■SET UP

MDをプレイするときは…

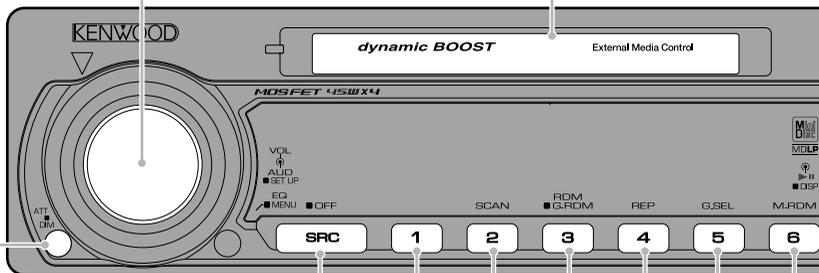
プレイするMDを差し込みます。
MDが入っているときはINインジケーターが点灯します。

- “MDLP”フォーマットで録音したMDもプレイすることができます。
- 本機はグループ管理機能を搭載しています。詳しくは、「Help ?MD Group」（28ページ）をご覧ください。

音量をすばやく小さくします。

もう一度押すと元の音量に戻ります。

KENWOOD　dynamic BOOST　External Media Control　MOSFET 45W×4

VOL AUD ■SET UP　EQ ■MENU　■OFF　SCAN　RDM ■G.RDM　REP　G.SEL　M.RDM　ATT DIM　■DISP　MDLP

SRC　1　2　3　4　5　6

電源をオン/オフします。

押すと電源がオンになり、1秒以上押すと、電源がオフになります。

MDのプレイとFM/AM放送を切り替えます。

ディスクが入っているときに押すと、FM/AM放送、MD、STANDBYに切り替わります。

メモリーされている放送局を選びます。

2秒以上押すと、受信中の放送局を、ボタンにメモリーします。

演奏を一時停止します。

もう一度押すとプレイします。

注意

安全のため、周囲の音が聞こえる音量でお聴きください。

プレイする曲を選択します。

受信する放送局を選びます。

受信状態の良い放送局を自動的に受信します。
チューニングモードの設定により、メモリーしている放送局を順に受信するようにしたり、周波数を１ステップずつ変えたりできます。（18ページ）

交通情報の周波数（1620KHz/1629KHz/522KHz）に切り替えます。

MDを取り出します。

FM放送バンド（FM１/FM2/FM3）に切り替えます。

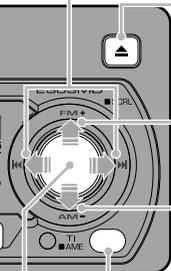
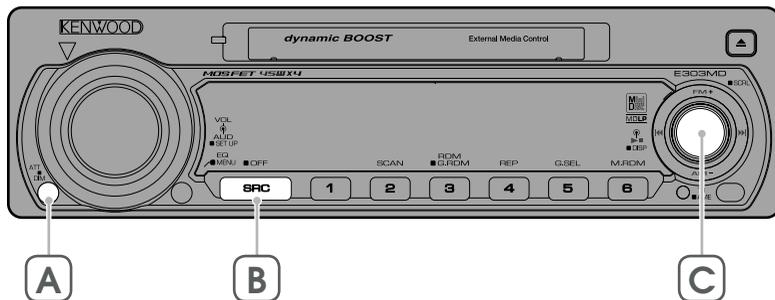
次のMDグループを選びます。

AM放送バンドに切り替えます。

前のMDグループを選びます。

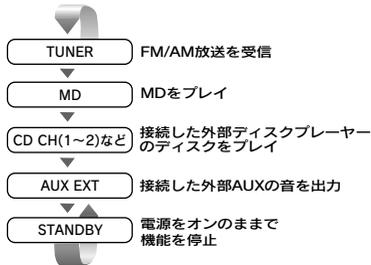
交通情報を受信します。

交通情報を受信中はTIインジケーターが点灯します。
もう一度押すと元に戻ります。

交通情報を受信中に音量を調整すると、次回から交通情報を受信したときは自動的にこの調整した音量になります。

ソースセレクション /

ソース選択

プレイするソースを切り替えます。

押すたびに次の順で切り替わります。

別売品のユニットが接続されているときには、次の順で切り替わります。

- 外部ディスクプレーヤーを選択時の表示例
  “CD CH（1～2）”：CDチェンジャー
  “MD CH（1～2）”：MDチェンジャー
  “DISC CH（1～2）”：ディスクチェンジャー
- AUX入力ソースモード（“AUX EXT”）を使用するためには、別売品のKCA-S210AまたはCA-C1AXが必要です。
- KCA-S210Aを使用すると、“AUX EXT”表示を「AUXネームセレクト」（26ページ）で替えることができます。

ディマーコントロール

ディスプレイの明るさを設定します。

DIM ON

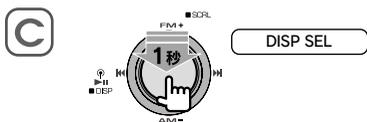
２秒以上押すたびに、ディマーがオン/オフします。オン時はディスプレイが暗くなります。

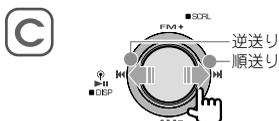
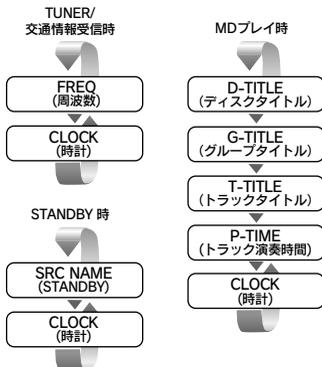
ディスプレイコントロール Functional Operation

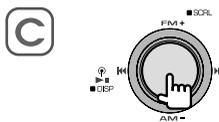
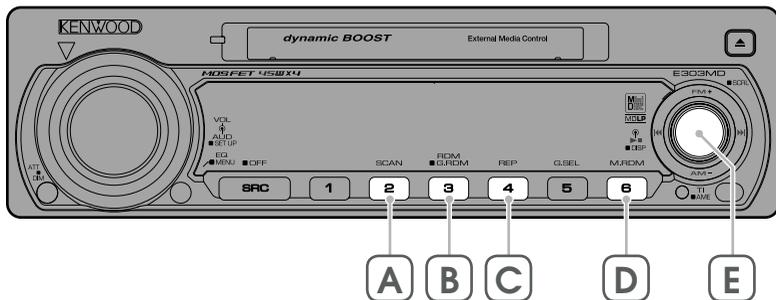
**プレイするソースを選びます。
また、ディスプレイ表示の設定をします。**

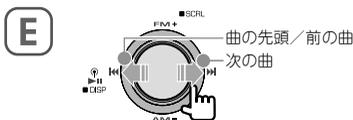
ディスプレイ表示切り替え

ディスプレイに表示される情報を切り替えます。

1 ディスプレイモードにします

“DISP SEL”と表示されるまで押し続けます。

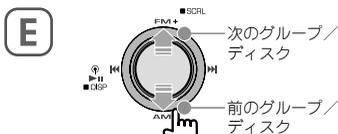
2 表示項目を選択します

押すたびに次の順で切り替わります。

- MDの演奏時間が100分をこえた場合、下２桁までの表示がされます。
- “G-TITLE”は、「メニュー設定」（24ページ）で“GRP”項目を“ON”して、グループ登録済みMDをプレイ時に選択できます。
- ディスクタイトル、トラックタイトル、グループタイトルが記録されていないディスクを再生中に上記の表示に切り替えると、演奏時間が表示されます。

3 ディスプレイモードを終了します

MD/External Disc モード

トラックサーチ

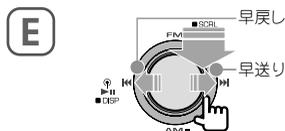
順に曲を選びます。

押すたびに、次の曲、または現在プレイ中の曲の先頭／前の曲へトラックサーチします。

グループ/ディスクサーチ

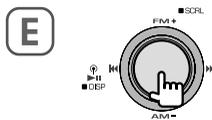
(グループ登録済みMDのみ、ディスクチェンジャー)

プレイするディスクやグループを選びます。

- "10"番目のディスク番号は"0"と表示されます。
- グループサーチは「メニュー設定」(24ページ)で"GRP"項目が"ON"のときに操作できます。

マニュアルサーチ

現在プレイ中の曲を早送り／早戻しします。

ボタンを押している間だけ、早送り／早戻しされます。

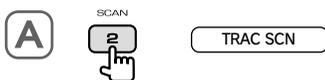
ポーズ

現在プレイ中の曲を一時停止します。

もう一度押すとプレイを再開します。

スキャンプレイ

ディスクやグループ内の各曲の先頭部分を10秒間ずつプレイして曲を探すことができます。

1 トラックスキャンプレイを開始します

A

押すたびにスキャンプレイがオン／オフされます。スキャンプレイがオンのときは、トラックナンバーが点滅します。

2 聴きたい曲のところで…

その曲からプレイされます。

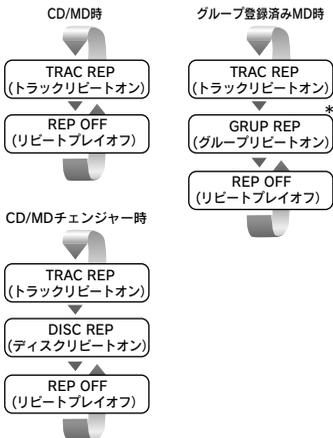
すべてのトラックがスキャンされると、スキャンプレイは、自動的に終了します。

MDや別売品のディスクチェンジャーソースでいろいろな機能を使ってプレイします。

基本的なMDの聴きかたはEZ Operation（10ページ）をご覧ください。

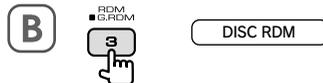
リピートプレイ

現在の曲またはディスク／グループ内の曲を繰り返しプレイします。

押すたびに、次のように切り替わります。
トラックリピート中はトラックナンバー、グループリピート中はグループナンバー、ディスクリピート中はディスクナンバーが点滅します。

＊ “GRP REP” は「メニュー設定」(24ページ) で “GRP” 項目が “ON” のときに選択できます。

ランダムプレイ

現在のディスクや全グループ内の曲をランダムな順でプレイします。

DISC RDM

押すたびに、ランダムプレイがオン／オフされます。ランダムプレイ中はトラックナンバーが点滅します。

● を▶▶I側に押すと、次の曲をランダムに選択します。

● 全グループ内の曲をランダムプレイ中に、グループサーチはできません。

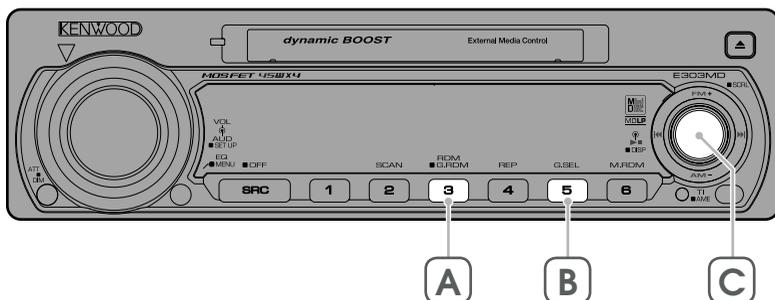
マガジンランダムプレイ
(ディスクチェンジャーのみ)

ディスクチェンジャーにセットされているディスクの中からランダムな順でプレイします。

MGZN RDM

押すたびに、マガジンランダムプレイがオン/オフされます。マガジンランダムプレイ中はトラックナンバーが点滅します。

を▶▶I側に押すと、次の曲をランダムに選択します。

MD/External Disc モード

グループランダムプレイ
(グループ登録済みMDのみ)

グループ登録済みMDを再生中にグループ内の曲をランダムな順でプレイします。

1 グループランダムプレイを開始します

GRUP RDM

グループランダムプレイ中はトラックナンバーが点滅します。

2 グループランダムプレイを終了します

- を▶▶|側に押すと、次の曲をランダムに選択します。
- グループランダムは「メニュー設定」(24ページ)で“GRP”項目が“ON”のときに操作できます。

グループセレクト
(グループ登録済みMDのみ)

聴きたい曲が入っているグループを、グループ表示で選択します。

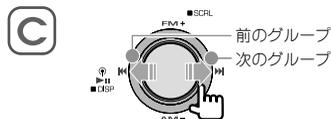
1 グループセレクトモードにします

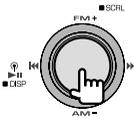
G-SELECT

ディスプレイに以下の表示がされて、1 グループから表示します。

グループナンバー表示
グループナンバーを表示します。

SEL G03

2 グループを選びます

押すたびに、次のグループ／前のグループへと移動します。

3 聴きたい曲が入っているグループで…

グループセレクトモードが終了し、そのグループ内の最初の曲がプレイされます。

グループセレクトを中止するときは…

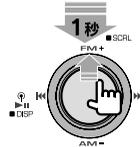
グループセレクトは「メニュー設定」(24ページ)で“GRP”項目が“ON”のときに操作できます。

タイトルスクロール

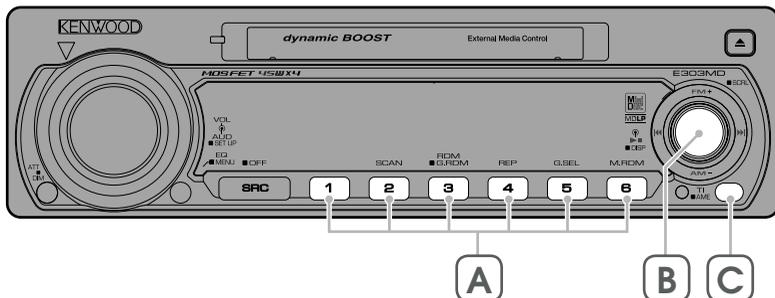
スクロールモードを“MANU”に設定しているときに、タイトルをスクロール表示します。

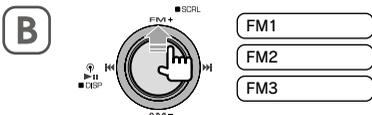
1 タイトル表示にします

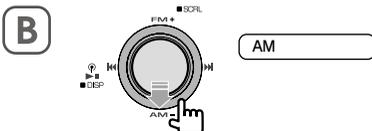
「ディスプレイ表示切り替え」(13ページ)を参照してディスクタイトル/トラックタイトル/グループタイトル表示を選択します。

2 スクロール表示します

表示中のタイトルを1回スクロール表示します。

スクロールモードを“AUTO”に選択中は、上記の操作を行うと、タイトルは最初の文字からスクロールを開始します。(スクロール設定の方法は、「メニュー設定」(24ページ)を参照してください)

TUNER モード

バンド切り替え

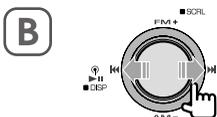
FM1、FM2、FM3に切り替えます。

押すたびに、FM1/FM2/FM3の順で切り替わります。

AMバンドに切り替えます。

チューニング

受信する放送局を選びます。

1 バンドを選びます

前記の「バンド切り替え」を参照してバンドを選びます。

2 放送局を選びます

チューニングモードがオート1のとき
受信状態の良い放送局を自動的に選びます。途中で解除するときは、もう一度押します。

チューニングモードがオート2のとき
メモリーされている放送局を番号順に受信します。（メモリーの方法は19ページを参照してください）

チューニングモードがマニュアルのとき
押すたびに、周波数が1ステップずつ変わります。

- チューニングモードは「メニュー設定」（24ページ）で選択できます。
- FMステレオ放送を受信するとSTインジケーターが点灯します。

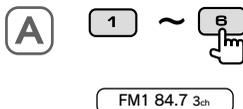
プリセットチューニング

メモリーボタン（1～6）にメモリーされている放送局を受信します。

1 バンドを選びます

前記の「バンド切り替え」を参照してバンドを選びます。

2 メモリーボタン（1～6のいずれか）を選びます

～
FM1 84.7 3ch

押したボタンの番号がメモリーナンバーに表示され、メモリーされている周波数が呼び出されます。

FM/AM放送を受信します。
また、各バンドごとに６局までの放送局をメモリーしておくこともできます。

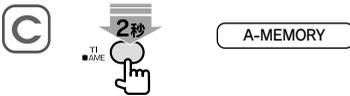
基本的なFM/AM放送の聴き方はEZ Operation（10ページ）をご覧ください。

オートメモリー

受信状態の良い放送局を自動的に選んでメモリーします。

1 バンドを選びます

前記の「バンド切り替え」を参照してバンドを選びます。

2 オートメモリーを開始します

A-MEMORY

“A-MEMORY”表示になるまで押し続けます。

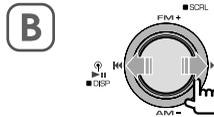
６局メモリーするか、周波数を１周すると自動的にオートメモリーは終了します。

マニュアルメモリー

受信中の放送局をメモリーします。

1 バンドを選びます

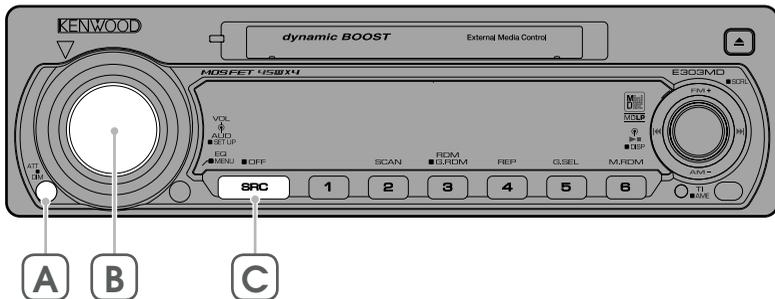
前記の「バンド切り替え」を参照してバンドを選びます。

2 放送局を選びます

3 メモリーするボタン（1～6のいずれか）を選びます

～

FM1 84.7 3ch

ボタンナンバー表示が１回点滅するまで押し続けます。

オーディオコントロール

オーディオコントロール

音量バランスなどを調整します。

1 設定したいソースにします

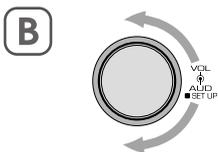
C

2 設定する項目を選択します

B

押すたびに設定項目が切り替わります。

3 値を選択します

B

回すたびに設定値が切り替わります。

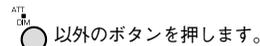
設定できる項目と値は次のとおりです。

設定項目	設定値
BAS L ［バス］ （低音の音量レベル）	−8〜8
MID L ［ミッド］ （中低音の音量レベル）	−8〜8
TRE L ［トレブル］ （高音の音量レベル）	−8〜8
BAL ［バランス］ （左右の音量レベル）	L［左］15〜R［右］15
FAD ［フェダー］ （前後の音量レベル差）	R［後］15〜F［前］15

“BAS”、“MID”、および“TRE”の値は、各ソースごとに設定できます。

4 オーディオコントロールを終了します

A

以外

以外のボタンを押します。

“FAD”調整しているときに…

B

音質バランスなどを調整します。

オーディオセットアップ

ラウドネスとボリュームオフセットの調整をします。

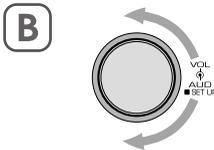
1 設定したいソースにします

2 オーディオセットアップモードにします

“V-OFF”表示になるまで押し続けます。

3 設定する項目を選択します

押すたびに設定項目が切り替わります。

4 値を選択します

回すたびに設定値が切り替わります。

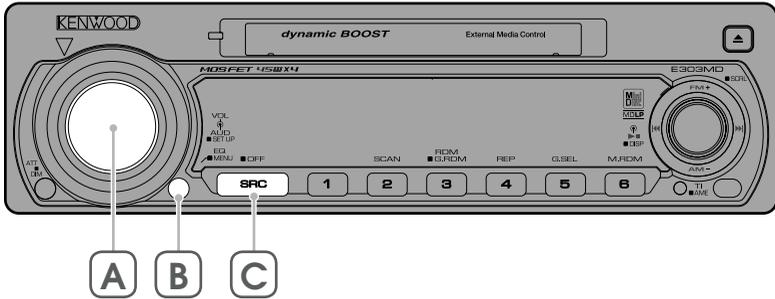
設定できる項目と値は次のとおりです。

設定項目	設定値
V-OFF［ボリュームオフセット］（ソース間のレベル差）	−8〜0
LOUD ［ラウドネス］（低音域と高音域の強調）	ON/OFF

- “V-OFF”（ボリュームオフセット）を設定すると、聴く時点での音量に対して、各ソースごとで音量差を設定することができます。
- “LOUD”（ラウドネス）をオンに設定すると“LOUD”インジケーターが点灯します。

5 オーディオセットアップを終了します

元のソース表示になるまで押し続けます。

オーディオコントロール

dBイコライザー

ジャンル別に設定された音質を呼び出します。

1 設定したいソースにします

2 dBイコライザーを選択します

一度押すと現在設定されている音質が表示されます。その後、押すたびに次の順でメモリーされている音質に切り替わります。

- dBイコライザーは各ソースごとに設定できます。
- dBイコライザーの設定は、スピーカーマッチングの設定により変わります。「スピーカーマッチング」（17ページ）を先に設定してください。
- “USER”は「オーディオコントロール」（14ページ）を調整していると、最初に現在の設定として表示されます。dBイコライザーの設定を替えると「オーディオコントロール」で調整した値（“BAS”、“MID”および“TRE”）は、dBイコライザーの値に置き替えられます。

スピーカーマッチング

音質をスピーカーに合わせて微調整します。

1 スタンバイモードにします

STANDBY

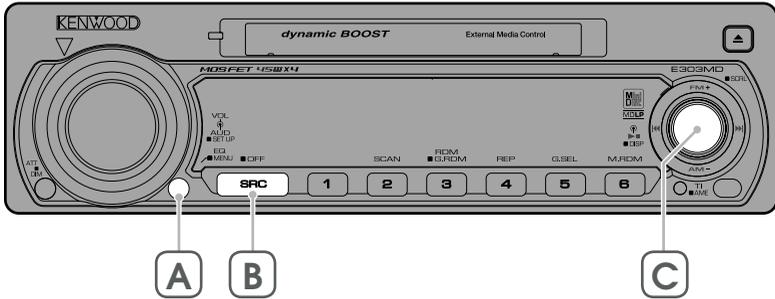
2 スピーカーマッチングモードにします

3 スピーカーの選択をします

回すたびにスピーカーの設定が以下のように切り替わります。

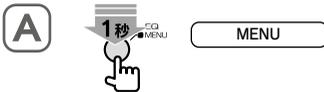
設定	内容
STANDARD	標準的なスピーカーに合う設定
MIDDLE	低音域のあまり出ない小型のスピーカーに合う設定
WIDE	低音域のよく出る大型のスピーカーに合う設定
NARROW	周波数帯域が狭いスピーカーに合う設定

4 スピーカーマッチングモードを終了します

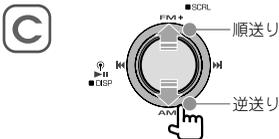
Menu Set

メニュー設定

操作時のビープ音などの各種の機能を設定します。

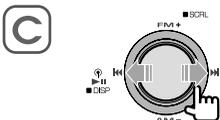
1 設定する項目があるモードにします

2 メニューセットモードにします

MENU

“MENU” と表示されるまで、押し続けます。

3 設定項目を選択します

右表の順番で設定するメニュー項目が切り替わります。

- *マークが付いた項目の詳しい機能については「Help ?Word」(33ページ)をご覧ください。
- 右表の「条件」の内容が満たされていないと、その項目の表示・設定は行えません。

4 設定値を選択します

設定できる項目と値は次のとおりです。

設定項目	設定値	条件
*BEEP (ビープ音)	**ON**/OFF	STANDBY モード時
CLK ADJ (時計調整)	設定の方法は25ページをご覧ください。	STANDBY モード時
*AUTO/MANUAL (チューニングモード)	**AUTO1**/AUTO2 /MANUAL	TUNER モード時
*MONO (モノラル受信)	ON/**OFF**	FM放送受信時
NAME SET (AUXネーム)	設定の方法は26ページをご覧ください。	AUXモード時
*SCL (スクロール設定)	**AUTO**/MANU	——
*GRP (MDグループ機能)	ON/**OFF**	STANDBY モード時
*GUID (ナビ音声ガイド時のミュート設定)	ATT/**OFF**	STANDBY モード時

(太字は初期設定値)

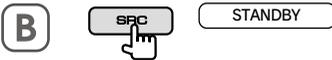
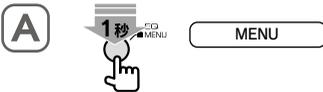
5 メニューセットモードを終了します

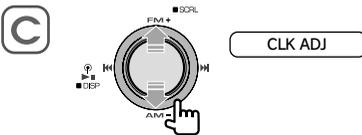
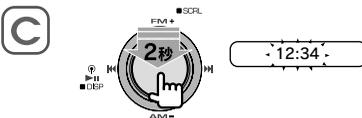
Menu Set

本機の各種機能を設定します。

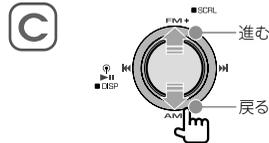
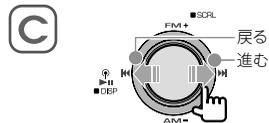
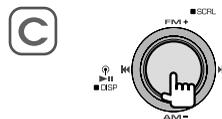
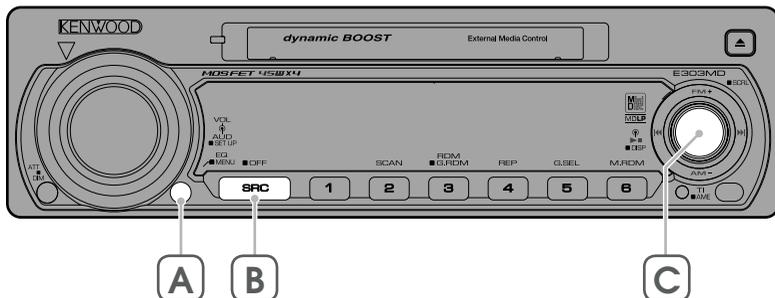
時刻合わせ

時刻を合わせます。

1 STANDBYモードにします

2 メニューセットモードにします

“MENU”と表示されるまで、押し続けます。

3 時計調整項目を選択します

4 時刻合わせを開始します

時計が点滅表示されるまで押し続けます。

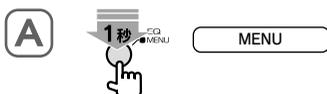
5 時刻を合わせます

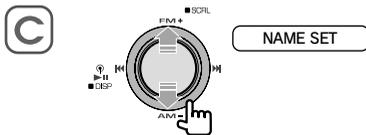
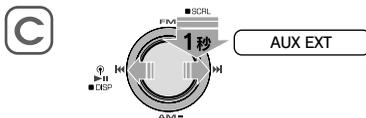
“時”を合わせます

“分”を合わせます

6 時刻合わせを終了します

分を調整したときは、“00”秒からカウントがスタートします。

AUXネームセレクト

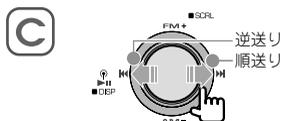
AUXモードに切り替えたときの表示を設定します。

1 AUXモードにします

AUX EXT

2 メニュー設定モードにします

“MENU”と表示されるまで、押し続けます。

3 ネームセット項目を選択します

4 ネームセットモードにします

AUXネームが表示されるまで押し続けます。

5 AUXネームを選択します

押すたびに次の順で切り替わります。

6 ネームセットを終了します

- 10秒間以上何も操作しないと、その時点での名前が選択されます。
- バッテリーから本機をはずすと、AUXネームは“AUX EXT”に戻ります。
- CA-C1AXを使用したAUX入力には「AUXネームセレクト」はできません。

Help ? MD Group

本機では、グループ化されたMD（グループ登録済みMD）からグループを選んで、聴きたい曲をすばやく選べるグループ管理機能を搭載しています。
（MDの作成方法はグループ機能を搭載した編集機などの取扱説明書をご覧ください）

最大再生可能グループ数

本機で再生できるグループ数は50番目までです。51番目以降に登録されているグループは再生できません。

グループ登録された曲を再生する順番

以下のようなグループで作成されたディスクでトラックサーチ、グループサーチ、およびグループセレクトを行った場合は次のようになります。なお、グループ管理機能は「メニュー設定」（24ページ）の“GRP”項目を“ON”に設定しているときに使用できます。

♪ トラック

- グループ管理機能を“ON”に設定していると、グループに登録していないトラックは再生されません。グループ管理機能を“OFF”に設定するとすべての曲を聴くことができます。
- トラックが登録されていないグループは、グループサーチやグループセレクトでは選択できません。

♪⑥ 再生中にトラックサーチを行うと・・・・

ボタン操作 / 現在のトラックNo.	⏮	⏭
♪⑥	♪⑥の先頭 ➡♪⑤➡♪④	♪⑦➡♪⑩➡♪⑪ •••

♪⑩ 再生中にグループサーチを行うと・・・・

ボタン操作 / 現在のグループNo.	AM−	FM+
3グループ	2グループ ➡1グループ •••	4グループ ➡1グループ

グループセレクトを行うと・・・・

ボタン操作 / 現在のグループNo.	⏮	⏭
3グループ	2グループ ➡1グループ	4グループ

どの曲を再生中でもグループセレクトを行うと、1グループ目からグループセレクトが開始されます。
上記の説明は、 ⏭ を▶▶|側に2回押して3グループを選択したときの操作例を記載してあります。
グループセレクトモードの入りかたは、「グループセレクト」（16ページ）をご覧ください。

電源がオンにならない

原因	処置
●ヒューズが切れている。	●コード類がショートしていないことを確認した後、同じ容量のヒューズと交換してください。
●入出力ケーブル、電源コード、パワーコントロールコードなどの接続が間違っている。	●「接続」(38ページ)を見て正しく接続してください。
●スピーカーケーブルがショートしていたり、シャーシなどに接触してプロテクション機能が働いている。	●スピーカーケーブルを正しく配線または絶縁してからリセットボタンを押してください。

音が出ない/音が小さい

原因	処置
●フェダー、バランスが片方に寄っている。	●“FAD”(フェダー)や“BAL”(バランス)を正しく調整してください。(8ページ)
●ボリュームオフセットを設定している。	●“V-OFF”(ボリュームオフセット)を正しく調整してください。(15ページ)

操作スイッチを押しても動作しない

原因	処置
内蔵のマイコンが誤動作している。	リセットボタンを押してください。(8ページ)

音質が悪い(音がひずむ)

原因	処置
●音量が大きすぎる。	●音量を適正に調整してください。
●スピーカーコードが車両側のネジにかみ込んでいる。	●スピーカーの配線を確認してください。
●スピーカーの配線が間違っている。	●スピーカー出力端子をそれぞれのスピーカーと正しく接続してください。

チューナーの感度が悪い

原因	処置
●自動車のアンテナが伸びていない。	●アンテナを十分に伸ばしてください。
●アンテナコントロール電源が接続されていない。	●「接続」(38ページ)を見て正しく接続してください。
●アンテナ入力がきちんと接続されていない。	●アンテナ入力を確実に接続してください。

SRCボタンを押しても、CD-CH/MD-CHに切り替わらない

原因	処置
●それぞれのソースを聴くのに必要な別売品のユニットが接続されていない。	●接続されていないソースには切り替わりません。「接続」(38ページ)を見て正しく接続してください。
●別売品ユニットを接続後にリセットボタンが押されていない。	●リセットボタンを押してください。(8ページ)

音が途切れる

原因	処置
MDをイジェクトしている。	MDのイジェクト動作中は、一時的に音が出なくなります。イジェクト動作が完了すると元通りの音が出ます。

MD/External Disc mode

SRCボタンを押してもMDに切り替わらない

MDがセットされていない。 → プレイするMDをセットしてください。

MDが入らない

すでにMDが入っている。 → 入っているMDを取り出してから入れてください。

MDが引き込まれない

MDを入れる方向が間違っている、または裏返しになっている。 → 正しい方向で入れてください。

MDがイジェクトできない

ディスクがイジェクト途中で止まっている。 → MDイジェクトボタンをMDがイジェクトするまで押し続けてください。

ディスクを取り出せない

車両のACCスイッチをオフにしてから10分以上経過したため。 → ACCスイッチをオフにしてからディスクを取り出せるのは10分以内です。10分以上経過した場合は、再度ACCをオンにしてからイジェクトボタンを押してください。

MDを入れてもピー音がして再生できない

Hi-MD形式でフォーマットしたMDを再生している。 → Hi-MDに対応していません。従来のMDディスクでもHi-MD形式でフォーマットすると再生できなくなります。従来のMD方式で録音してください。

MDのプレイ中に振動で音飛びする

●取り付け角度が30°を超えている。
●取り付けが不安定になっている。

→

●30°以下になるように取り付けしなおしてください。
●しっかりと取り付け直してください。なお、駐停車中でも音飛びする場合や同じ場所で音飛びする場合はMDに原因があります。

同じ曲を繰り返しプレイするだけで、次の曲に進まない

トラックリピートがオンになっている。 → トラックリピートをオフにしてください。（15ページ）

曲の先頭しかプレイされない

スキャンプレイがオンになっている。 → スキャンプレイをオフにしてください。（13ページ）

曲が順にプレイされない

ランダムプレイがオンになっている。 → ランダムプレイをオフにしてください。（15ページ）

ディスクが順に演奏されない

マガジンランダムプレイがオンになっている。 → マガジンランダムプレイをオフにしてください。(15ページ)

マガジンランダムができない

ディスクが1枚しか入っていない。 → ディスクを2枚以上挿入してください。

リピートプレイ、スキャンプレイ、ランダムプレイがオフされない

ディスクを取り出さない限り、各機能は電源をオフにしても自動的にオフされません。 → 各機能をボタン操作でオフにするか、ディスクをイジェクトしてください。

CDをプレイできない

- CDが裏返しになっている。 → レーベル面を上にして入れ直してください。
- CDが異常に汚れている。 → CDをクリーニングしてください。
- 結露している。 → しばらく放置してから使用してください。

CD-R、CD-RWがプレイできない

- ファイナライズ処理を行っていない。 → CDレコーダーでファイナライズ処理を行ってください。ファイナライズ処理については、お使いのCD-R/CD-RWライティングソフトやCD-R/CD-RWレコーダーの説明書をご覧ください。
- CD-R、CD-RWに未対応のプレーヤーでプレイしている。 → CD-R、CD-RWに対応のCDプレーヤー/CDチェンジャーでプレイしてください。

チェンジャー内の同じディスクだけしかプレイされない

ディスクリピートプレイがオンになっている。 → ディスクリピートプレイをオフにしてください。(19ページ)

ディスクチェンジャーでトラックサーチできない

最初のトラックで前の曲へ、最後のトラックで先の曲へトラックサーチしようとしている。 → ディスクリピート中などを除き、最初のトラックから最後のトラックへ、最後のトラックから最初のトラックへはトラックサーチできません。

ディスクチェンジャーモードに切り替わらない

本機のディスクチェンジャー入力が接続されていない。 → 本機のディスクチェンジャー入力を「接続」(38ページ)を見て正しく接続してください。

ディスクチェンジャーモードを選択しても“AUX EXT”と表示される

- O-NスイッチをO側にしている。 → O-NスイッチはN側に設定してください。
- 本機が対応していないディスクチェンジャーを使用している。 → 本機に対応したディスクチェンジャーをお使いください。(8ページ)

MD Group

MDグループ機能が働かない

「メニュー設定」の“GRP”項目を“Off”に設定しているため、ディスクタイトルとグループタイトルとがすべて表示されている。

「メニュー設定」(24ページ)の“GRP”項目を“ON”に設定してください。

グループ登録済みMDが登録した順番どおりにプレイされない

- グループ機能を搭載していない編集機などで編集を行った。
- グループタイトルに“//”が付いている。

- グループ機能を搭載した編集機などで、グループを登録しなおしてください。
- グループ情報が正しく認識できないため、グループタイトルに“//”は付けないでください。

ディスクタイトルが正しく表示されない

「メニュー設定」の“GRP”項目を“OFF”に設定している。

“GRP”項目を“OFF”に設定時はグループ情報が表示されます。

ディスクタイトルが表示できない

ディスクタイトルとグループタイトルとが異なる種類の文字で登録されている。

ディスクタイトルとグループタイトルとが異なる種類の文字で登録されているMDでは、ディスクタイトルが表示できないことがあります。グループ機能を搭載した編集機などでディスクタイトルを登録し直してください。

聴きたい曲が選択できない

グループに登録されていない。

聴きたい曲を何らかのグループに登録するか、「メニュー設定」(24ページ)の“GRP”項目を“OFF”に設定してください。

MDのプレイが1曲目に戻る

「メニュー設定」の“GRP”項目の設定を行った。

MDをプレイ中に「メニュー設定」(24ページ)の“GRP”の設定を行うとMDのプレイが1曲目に戻ります。

オーディオコントロール

オーディオコントロールモードにならない

STANDBY(スタンバイ)にしている。

STANDBY(スタンバイ)中はオーディオコントロールの操作ができません。ソースモードを切り替えてから操作してください。(14ページ)

ラウドネスコントロールをオンにしても高音が強調されない

FM/AM放送を聴いている。

チューナーモードでは低音のみが強調されます。

共通

External Disc
（エクスターナル ディスク：外部ディスク）
外部接続された別売品のCDプレーヤー、CDチェンジャー、マルチメディアプレーヤーなどディスク（CD、DVDなど）メディアを再生する機器をまとめて『External Disc』（外部ディスク）と呼びます。

MDLP
（エムディ エルピィ）
MDの録音方式の規格です。
本機ではMDLP2モードとMDLP4モードで録音されたMDをプレイできます。

ディスクチェンジャー
外部接続された別売品のCDチェンジャー(KDC-C469, KDC-C520など)、MDチェンジャー、マルチメディアプレーヤーです。

交通情報：TI
（トラフィック インフォメーション）
高速道路などでは決められた周波数で交通情報を放送しています。MDを聴いていても、すばやく交通情報を聴くための機能です。

オーディオコントロール

---

dBイコライザー
（ダイナミックブーストイコライザー）
ジャンル別に設定された効果には以下のような特徴があります。

ROCK： スピーディーで力強いアタック音を再現します。
POPS： 中高域をメインにしたリズミカルな音を再現します。
EASY： 中低域をベースにした味わい深いサウンドを再現します。
TOP40： 高域をメインにした華やかな音を再現します。
JAZZ： ウッドベースの音階やボーカルの質感を鮮明に再現します。

V-OFF
（ボリューム オフセット）
オーディオコントロールで“V-OFF”を設定すると、聴く時点での音量に対して、各ソースごとで音量差を設定しておくことができます。

メニュー設定

AUTO1/2/MANUAL

（チューニング モード）

放送局の探し方を設定することができます。

AUTO 1： 放送局を自動的に見つけ出します。

AUTO 2： メモリーされている放送局を順番に受信します。

Manual：1ステップずつ周波数が変わります。

BEEP

（ビープ）

SRCボタンを押したときや、ボタンを１秒以上または2秒以上押したとき、押されたことが確認できるように“ピッ”音がする機能です。うるさく感じたときには“OFF”に設定することにより消すことができます。

GRP

（エムディ グループ）

この機能をオンにしておくと、グループ登録済みMDを再生中に、グループサーチ、グループリピートプレイ、グループランダムプレイ、およびグループセレクトのMDグループ機能を使うことができます。

このとき、グループに未登録の曲は再生されませんので、何らかのグループに登録するか、この機能をオフにしてください。

MDグループ機能については「Help ?MD Group」（28ページ）もご覧ください。

GUID

（ナビ音声ガイド）

本機にナビゲーションシステムを接続しているときに、この機能を“ATT”にしておくと、現在聴いているソースの音量を一時的に小さくし、ナビゲーションの音声を聴きやすくするものです。

MONO

（モノラル）

この機能でFMステレオ放送をモノラル音声にすることができます。

受信状態の悪いFM放送局を聴いているときに、音声をモノラルにすると雑音が軽減されて聞き易くなるときがあります。

SCL

（スクロール）

ディスクタイトルやCDテキストが長いためディスプレイ部分では表示しきれないときはスクロールして表示されます。

この機能を“SCL AUTO”に設定しておくと、このスクロール表示を繰り返し行い、“SCL MANU”に設定しておくと表示が変わったときに１回スクロール表示するようにできます。

無効な操作を以下のように表示してお知らせします。

BLANK ：演奏しようとしたMDにデータが1つも記録されていない。
➡ほかのディスクを使用してください。

E-12 ：演奏しようとしたMDがデータ用MDです。
➡データ用MDを取り出して、音楽用MDを入れてください。

E-15 ：ディスクに外部ディスクプレーヤーで再生できるデータが入っていない。

EJECT ：●ディスクマガジンがセットされていない。
●ディスクマガジンが完全に入っていない。
など

NO DISC ：●ディスクマガジンにディスクが１枚も入っていない。
●ディスクマガジンにトレイが入っていない。

NO PANEL ：接続した外部機器（CDプレーヤーなど）の操作パネルが外れいている。
➡外部機器の操作パネルを取り付けてください。

NO TRACK ：演奏しようとしたMDに何も録音されていない。
➡ほかのディスクを使用してください。

TOC ERR ：●ディスクが異常に汚れている。
●ディスクが裏返しになっている。
●ディスクに傷が多く付いている。
●ディスクが入っていない。

システムの状態を以下のように表示してお知らせします。

E−77 ：何らかの原因で正常に動作していない。
➡本機のリセットボタンを押してください。"E-77"の表示が消えない場合、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。

E-99 ：●ディスクマガジンに異常がある。
➡ディスクマガジンを取り出して、ディスクマガジン内を確認してください。
●何らかの原因で正常に動作していない。
➡イジェクトボタンを押してください。イジェクトボタンを押しても表示が消えないときは本機のリセットボタンを押してください。なお、表示が消えない場合、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。

HOLD ：本機のMDプレーヤーやディスクチェンジャーの内部温度が 60℃以上になると保護回路が働き、動作しなくなることがあります。このときこの表示が出ます。
➡本機またはディスクチェンジャーの取り付け場所の温度を下げてから使用してください。

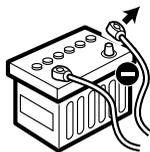
IN（点滅） ：MDプレーヤー部が正常に動作していない。
➡⏏（イジェクト）ボタンを押してMDを取り出してください。MDが取り出せないまたはMDを正しく入れなおしても点滅のままの場合は、電源をオフにしてお近くのケンウッドサービス窓口へお問い合わせください。

取り付け時のご注意

⚠警告

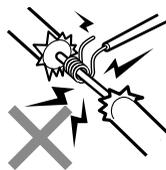
禁 止

大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災などの原因となります。本製品はDC12V㊀アース車専用です。

実 施

配線作業中は、バッテリーの㊀端子を外してから行ってください。
ショート事故による感電やケガの原因となります。

実 施

本製品の配線は必ず、取扱説明書に記載してある通りに行ってください。
配線を間違えますと、火災、その他の事故の原因となります。

禁 止

コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にお止めください。リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。

禁 止

本製品を前方の視界を妨げる場所や、運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けないでください。交通事故やケガの原因となります。

実 施

本製品を取り付けの際には、必ず付属の取付用部品をご使用ください。取付用付属品をご使用にならないと、製品内部を壊し、ショート事故による火災が起こるおそれがあります。
また、取り付け不備により運転中に製品が外れて人に当たるなど、ケガの原因となります。

禁 止

車両電源配線用コード以外で延長しないでください。
コードの被覆が破れやすく、ショート・発熱事故による火災が起こるおそれがあります。
また、電流容量オーバーにより、火災が起こるおそれがあります。

実 施

車両の板金部の近くを通るコードには、保護用テープを巻いてください。
コードが切れると、ショート事故により、火災となるおそれがあります。

禁 止

アースコードを、ステアリング部やブレーキライン系統などの重要保安部品のボルトやナットに取り付けないでください。事故などの原因となります。

実 施

バッテリー電源（黄）を接続する車両側電源のヒューズ容量が、本機のヒューズ容量（10A）以上であることを確認してください。
また、別売品のパワーアンプなどを接続する場合は、それらと本機との総ヒューズ容量が車両側のヒューズ容量以下であることを確認してください。もし、超える場合には、バッテリーから直接電源を取ってください。
車両側のヒューズ容量を超える電源を接続すると、リード線の電流容量オーバーにより、火災などの事故の原因となります。

実 施

電源がオンにならない場合や、オンになってもすぐにオフになる場合は、スピーカーコードがショートしていたり、車の金属部分に接触して、プロテクション機能が働いている可能性があります。このような場合はスピーカーコードの配線を確認してください。

注 意

車体に穴を開けて取り付ける際は、パイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認のうえ、これらと当たったり接触することがないようにしてください。火災の原因になります。

実 施

本製品の取り付け終了後に、車のブレーキランプ、ヘッドランプ、ウィンカー、ワイパーなどが正常に動作することを確認してください。正常に動作しない場合は、正常に動作するように取り付けをやり直してください。

注 意

本製品、または車両のヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、必ずヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用しますと、火災の原因になります。

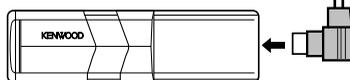
実 施

事故防止のため、電池やネジなどの小物類は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

接続

初めにエンジンキーが抜かれていることを確認後、
ショート事故防止のため必ずバッテリーの⊖端子を外してください。

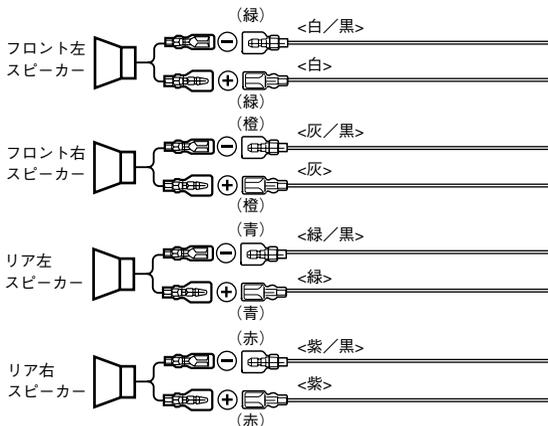
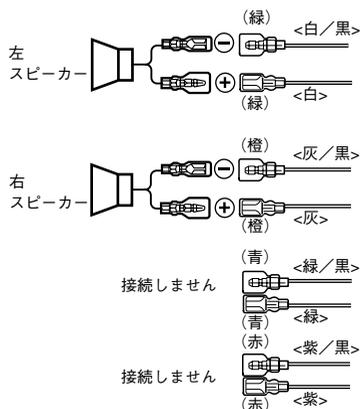
実 施

1. エンジンキーを抜きます。
2. 各セットの入・出力コードを確かめて接続します。
3. 電源ハーネスのスピーカーコードを接続します。
4. 電源ハーネスをアースコード（黒）、バッテリー電源コード（黄）、アクセサリー電源コード（赤）の順に接続します。
5. 電源ハーネスのコネクターを本機に接続します。
6. 取り付け終了後に、バッテリーの⊖端子を接続します。
7. 本機のリセットボタンを押します。

●別売品のディスクチェンジャーやCDプレーヤーに“O-Nスイッチ”がある場合は“N”に設定してください。
●別売品のKCA-S210Aを接続する場合は、KCA-S210A付属の取扱説明書で“Dユニット”項目を参照してください。

ヒューズ（10A）
（付属）

注 意

ヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、**ヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。**規定容量以外のヒューズを使用すると、火災の原因になります。

２スピーカー時のスピーカー接続方法

注 意

●スピーカーコードの⊕⊖端子を車のシャーシなどに接触させないでください。
●複数のスピーカーコードの⊖端子を共通にして接続しないでください。

注 意

ミュート入力（茶）をケンウッド製以外のカーナビゲーションシステムに接続すると誤動作する場合があります。誤動作する場合は、「メニュー設定」の“GUID”項目を“OFF”に設定してください。(24ページ)

アンテナ入力

車両アンテナ端子

ディスクチェンジャー/CDプレーヤー入力
詳しい接続のしかたはディスクチェンジャー/CDプレーヤーに付属の取扱説明書をご覧ください。

電源ハーネス
（付属）

アンテナコントロール（青）
ANT CONT
オートアンテナのコントロール端子やガラスプリントアンテナのブースターアンプの電源端子へ接続してください。接続しない場合はキャップを付けたままにしてください。

パワーコントロール（青/白）
P.CONT
使用しません。

ミュート入力（茶）
MUTE
ケンウッド製ナビゲーションシステムのミュート端子、またはラインミュート端子に接続してください。

エンジンキー

アクセサリー電源（赤）⊕
エンジンキーでオン/オフできる電源へ接続してください。
ACC

アクセサリー電源

ヒューズ

バッテリー電源（黄）⊕
メインヒューズを通ったあとで、エンジンキーのオン/オフに関係なく常に電圧のかかっている電源へ接続してください。
BATT

バッテリー電源

メイン
ヒューズ

アース（黒）⊖
車の金属部分（バッテリーのマイナス側と導通しているシャーシなどの一部）へ接続してください。

バッテリー

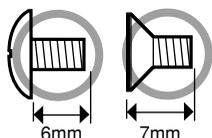
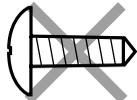
取り付け

付属のトラスネジ（M5 × 6mm）またはサラネジ（M5 × 7mm）を4本使用して車両ブラケットなどに取り付けます。

注 意

取り付けには必ず付属のネジをご使用ください。
付属以外の長いネジを使用すると、本機内部が破壊したり、発煙することがあります。
また、短いネジを使用すると、本機が取付ブラケットなどから外れることがあります。

付属取付ネジ　　その他のネジ

6mm　7mm

付属ネジ一覧

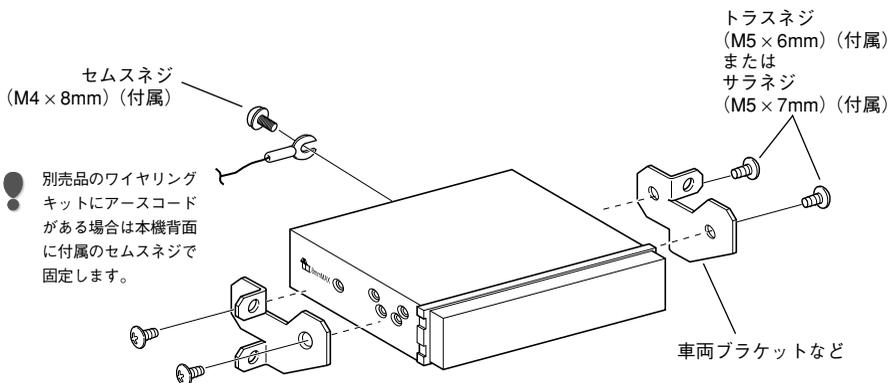
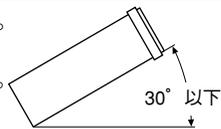
ネジ	数量
トラスネジ（M5 × 6mm）	4
サラネジ（M5 × 7mm）	4
セムスネジ（M4 × 8mm）	1

セムスネジ（M4 × 8mm）（付属）

トラスネジ（M5 × 6mm）（付属）または サラネジ（M5 × 7mm）（付属）

別売品のワイヤリングキットにアースコードがある場合は本機背面に付属のセムスネジで固定します。

車両ブラケットなど

注 意

●本機の取付角度は30˚以下になるように取り付けてください。
30˚以上の角度で取り付けると音飛びの原因になります。
●操作パネルを持って取り付け／取り外しをしないでください。
破損することがあります。

別売品のワイヤリングキットや取付キットを使用することにより、車にベストフィットした取り付けができます。キットは取り付ける車種に応じて用意されています。詳しくはカタログをご覧ください。

保証とアフターサービス

保証について

●保証書
この製品には、保証書を別途添付しております。
保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

●保証期間
お買上げの日より **1年**です。

修理を依頼されるときは
「Help ? Operation」を参照してお調べください。それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、サービスステーション、営業所にお問い合わせください。（別紙“ケンウッド全国サービス網”をご参照ください。）

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容がすべて消去されることがあります。あらかじめご了承ください。

● 保証期間中は…
保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、サービスステーション、営業所が修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。

本機以外の原因（衝撃や水分、異物の混入など）による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

● 保証期間経過後は…
お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、サービスステーション、営業所にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。

補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後**6年**です。
（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

● 持込修理
この製品は持込修理とさせて頂きます。
- 本機をお持ちになるときは、接続しているユニットも一緒にお持ちください。
（本機や一緒に持ち込まれるユニット内のディスクやテープなどのメディアはあらかじめ取り出してください。）
- 製品を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。

● 修理料金のしくみ （有料修理の場合は、つぎの料金が必要です。）
- 技術料：故障した製品を正常な状態に修復するための料金です。
技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。
- 部品代：修理に使用した部品代です。
その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

なお、アフターサービスについてご不明な点は、お買上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、サービスステーション、営業所にご遠慮なくお問い合わせください。

仕様一覧

FMチューナー部

受信周波数範囲（周波数ステップ）	76.0 MHz～90.0 MHz (100 kHz)
実用感度（S/N:30 dB）	9.3 dBf (0.8 μV/75 Ω)
S/N 50 dB感度	15.2 dBf (1.6 μV/75 Ω)
周波数特性（±3.0 dB）	30 Hz～15 kHz
S/N比	70 dB (MONO)
選択度（±400 kHz）	80 dB以上
ステレオセパレーション	40 dB (1 kHz)

AMチューナー部

受信周波数範囲（周波数ステップ）	522 kHz～1629 kHz (9 kHz)
感度	28 dBμ (25 μV)

MDプレーヤー部

レーザー	GaAIAs
デジタルフィルター	8倍オーバーサンプリング
D/Aコンバーター	1 Bit
回転数	400～900 rpm
ワウ & フラッター	測定限界以下
周波数特性	20 Hz～20 kHz (±2 dB)
高調波歪率	0.03 % (1 kHz)
S/N比	90 dB (1 kHz)
ダイナミックレンジ	90 dB
チャンネルセパレーション	85 dB

オーディオ部

最大出力	45 W × 4
定格出力	28 W × 4 (4 Ω, 1kHz, 10%THD以下)
トーン・コントロール（低音）	100Hz±10dB
（中音）	1kHz±10dB
（高音）	10kHz±10dB

電源部

電源電圧	14.4 V (11～16)
最大消費電流	10 A

寸法・質量

埋込寸法（W × H × D）	178 × 50 × 160 mm
質量（重さ）	1.1 kg

付属部品

電源ハーネス	1本
トラスネジ（M5 × 6mm）	4本
サラネジ（M5 × 7mm）	4本
セムスネジ（M4 × 8mm）	1本

※これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。

KENWOOD

株式会社 ケンウッド
〒192-8525　東京都八王子市石川町2967-3

● 商品に関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。
電話　(045)933-5212、(06)6394-8085（横浜へ自動転送されます。大阪市内への通話料でご利用いただけます）
FAX　(045)933-5553
住所　〒226-0006 神奈川県横浜市緑区白山1-16-2
受付時間　9:00〜18:00（土、日、祝祭日および当社休日は休ませていただきます）
● アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、別紙「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスステーション、サービスセンター、各営業所にご相談ください。